

たまい場つうしん 第16号

—大人も子どもも気軽に立ち寄ってお茶のみ話に花が咲く、そんな地域の公民館をめざして名づけました—

編集・発行：福生市公民館白梅分館 〒197-0003 福生市熊川559番地1 電話042(553)3454 Fax042(530)2513



写真は昭盛館当時の面影を残している佐渡製作所（年代不詳）
写真提供：佐渡信廣氏

熊川のちよつと昔を語り合いましょ

熊川歴史懇話会

娯楽の殿堂「昭盛館」

昭和初期の熊川の様子を、当時を知る古者にうかがいながら、地域の移り変わりや人々の暮らしの変化について懇談的に話し合っていきます。熊川の魅力を探り、歴史に思いをはせてみませんか？お気軽にご参加ください。

申込み・問合せ 白梅分館
電話042-553-3454へ

11月9日（日）
午前10時30分から

【今月の話題】

白梅会館のすぐそばに「昭盛館」という興行場がありました。

そこでは映画や旅役者たちの芝居がかり、大勢の観客でにぎわったそうです。昭盛館の成り立ちは定かではありませんが、舞台と10畳ほどの板の間の客席、2階席もあったようです。後に兵舎として使われていたのでは、という話もあるようです。

子ども時代に昭盛館に連れて行ってもらった方々から、当時の様子をうかがいます。

昭盛館についてご存知の方、伝え聞いている皆さんも、ぜひお話に加わってください。ご連絡をお待ちしています。

※白梅歴史懇話会は原則として3月までの第二日曜日に行う予定です。

※次回は12月14日（日）に「旧奥多摩街道沿い商店街のにぎわい」を取り上げます。

※あの方に、こんなお話を……などありましたらお知らせください。

熊川分水に親しむ講座
まとめとディスカッション



熊川分水の魅力にせまる5回講座の最終回は熊川分水の保存と活用をテーマに話し合います。

熊川分水は大部分が私有地を流れ、暗渠（あんきょいふた）をすることになったり、石積みが崩れたりしているところもあります。

また片倉跡地（熊川元気ひろば奥）を流れる熊川分水は都有地にあり、堀で囲まれているため、なかなか目にとまることはありません。白梅では年一回、熊川分水たんけん隊という事業でそこに入り、自然観察などを実施していますが、分水が年々荒れてきている印象があります。講座のまとめとして、熊川分水のこれからについて話し合います。

どなたでも参加できます。お気軽にご参加ください！

日時 11月15日（土）午後1時30分～3時30分

場所 公民館白梅分館
コーディネーター

黒沢吉信氏（熊川分水に親しむ会）

